

NPO法人幕別札内スポーツクラブ



北海道十勝全体でスポーツ文化醸成を！

【エリアネットワークの概要・特徴】 約半径30kmほどのエリア

- ・幕別町 2クラブ
- ・帯広市 5クラブ
- ・新得町 1クラブ
- ・浦幌町 1クラブ
- ・清水町 1団体
(体育協会)



平成23年度に「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」※
を受託後、北海道全体で推進しようと任意で立ち上がった「Action!十
勝」(十勝総合型クラブ連携協議会的組織)の主な構成クラブからの広
がり

※平成23年度の事業名は「スポーツコミュニティの形成促進」

当初より地域全体での事業推進を目指した！

【構成クラブの特徴(構成時)】



所在地 (人口)	団体名 (設立年数)	会員数	種目数	主な種目
幕別町 (約2万)	NPO法人 幕別札内SC(5年)	322	12	・サッカー ・ダンス ・タグラグビー
幕別町 (約2万)	十勝SCフーニ (1年)	70	2	・トランポリン ・ボルダリング
帯広市 (約17万)	清柳SC (7年)	180	8	・水泳 ・健康体操 ・スピードスケート
帯広市 (約17万)	帯広の森SC 「はつらつ」	30	4	・陸上 ・ピラティス ・コーディネーション
帯広市 (約17万)	畜大KIP	0	2	・体操 ・コーディネーション
帯広市 (約17万)	NPO法人 緑ヶ丘SC(1年)	80	2	・サッカー ・カーリング
新得町 (約6千)	We スポ しんとく (2年)	70	8	・サッカー ・ランニング

・概ね設立5年以内のクラブ。
・いわゆる「ビッククラブ」などは存在しない。

- ・北海道教育大学岩見沢校教授
- ・帯広畜産大学助教
- ・十勝教育局教育支援課社会教育指導班主査
- ・帯広市役所生涯学習部スポーツ振興主幹
- ・NPO法人清水町体育協会など



「各クラブが主体性を持って取り組むこと」



○ 互いに補完しあい、
高め合える関係

× 依存しあう関係

※拠点クラブはあくまでもコーディネート役

- ① 「各クラブのプログラムにない」 「多世代」 「地域性」 といった視点で種目を精選。 『十勝の食・自然』 『音楽』 とともに。。
- ② 種目ごとに「主管クラブ」を定めた。
- ③ 主管クラブが「参加者が気軽に取り組めるルール作り」から「当日の運営」までを主体的に行なうことで、運営能力を高めるとともに、事業の参加費が主管クラブの財源となる仕組みにする。
- ④ 主管クラブ以外のクラブは、各クラブの持つ資源（人材、用具、ネットワークなど）を有効活用し、主管クラブに協力して取り組む。



クラブ間ネットワークの取組事例

【トップアスリートによるカーリング教室の共同開催】

主管：NPO法人緑ヶ丘スポーツクラブ



マイクロバスの活用による
カーリング日帰り遠征へ



【クラブ間交流大会の共同開催】



長縄跳び大会 (清柳SC担当)

※簡易、多世代



- ・各クラブは参加費を払う
- ・運営スタッフとしても参加
- ・各クラブ主管にすることで
アイデアを学ぶ



【全道壁あり小学生サッカー大会】

主管：NPO法人幕別札幌内スポーツクラブ ※各クラブの強み



幕別町マスコット
キャラクター
「パオ」くん



優勝監督賞



Café



一人ひとりに賞状と地元産
ポテトチップス

【バルシューレ指導者養成講習会開催】



【スピードスケート指導研修会開催】





クラブ間ネットワークの効果

①【学び合いの場の創出】

継続すること、他クラブからも見られること、主管であるという責任、そして、他クラブからの的確なアドバイスにより、主管クラブの運営能力が向上。

②【気軽な情報交換の場の創出】

あらたまった場ではなく、共同開催時を通じて、自然に、気軽に情報交換などを行える。

③【資源の共有・相互補完】

各クラブの有する資源(人材、人的ネットワーク、物、特色あるプログラム等)を、共有・相互補完することで、各クラブ会員にとっても新たな魅力を創出。





総合型クラブ以外の主体とのパートナーシップの構築

- ① 「スケールメリット(オール十勝)による施設利用料の共同負担・減額」
- ② 「競技団体からの支援体制などによる経費削減」
- ③ 「トップアスリートが関わることによる地元大学生選手の自主的協力」
- ④ 「種目の魅力」により、参加者の所属母体の広がり
(今まで総合型クラブに関わりのなかった組織からの参加)
- ⑤ エリアネットワーク構成クラブの各所在市町村において、
「行政からの委託事業、補助事業等活用」「行政主催事業との連携」
「各学校での事業拡大」等が見込まれる。

今後、、、『地方創生』『1億総活躍』『キャリア教育』などといった各市町村事業に組み込んでいくことを企画・提案していく。

- ⑥ 「地域貢献を望む」プロスポーツチームとの様々な契約関係の可能性
北海道日本ハムファイターズ(プロ野球)、レバンガ北海道(バスケットボール Bリーグ)
エスポラーダ北海道(フットサル Fリーグ)等



クラブ間ネットワークにおいて 「拠点クラブ」が果たす役割

①【ネットワークの事務局機能としての役割】

- クラブ間の連絡調整や日程調整
- 行政や企業、大学、トップチーム等との対外交渉
(※拠点クラブ以外のクラブが主体となる場合もあり。柔軟に。)

②【コーディネーターとしての役割】

～同じ総合型クラブとしての立場で～

- 各クラブの資源・特長・課題等の状況を把握し、共同事業の企画提案
- 「各クラブから提案された事業」の実現へのコーディネート
- 若干の、人的・財政的な負担



小学校体育活動支援

- ・ 小学校の体育の授業などにスポーツ指導者を派遣してティーム・ティーチング等を実施



平成23～25年度「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」で4市町村7校で実施。



実績・成果を認められ・・・

- ・平成26年度～『幕別町小学校体育支援事業』 : 幕別町内小学校4校
※年間授業時数の30% 1,350円/h
- ・平成28年度～『池田町小中学校サポート講師事業』 : 池田町内小中学校4校
※年間155時間 1,900円/h
- 『池田町放課後子ども教室』 : 池田町内小学校3校
※年間各学校17回 8,000円/h

小学校体育活動支援の効果

参考資料

小学校体育活動支援による指導の効果は、

- ・ 専門的な指導や示範をみせることなどにより**児童の体育の授業に取り組む意欲が高まった: 96.7%**
- ・ **安全性の向上や事故防止に一層配慮した授業を実施できるようになった: 96.2%**
- ・ **個に応じたきめ細かい指導ができるようになった: 95.5%** 等

※割合は、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計

N: 180

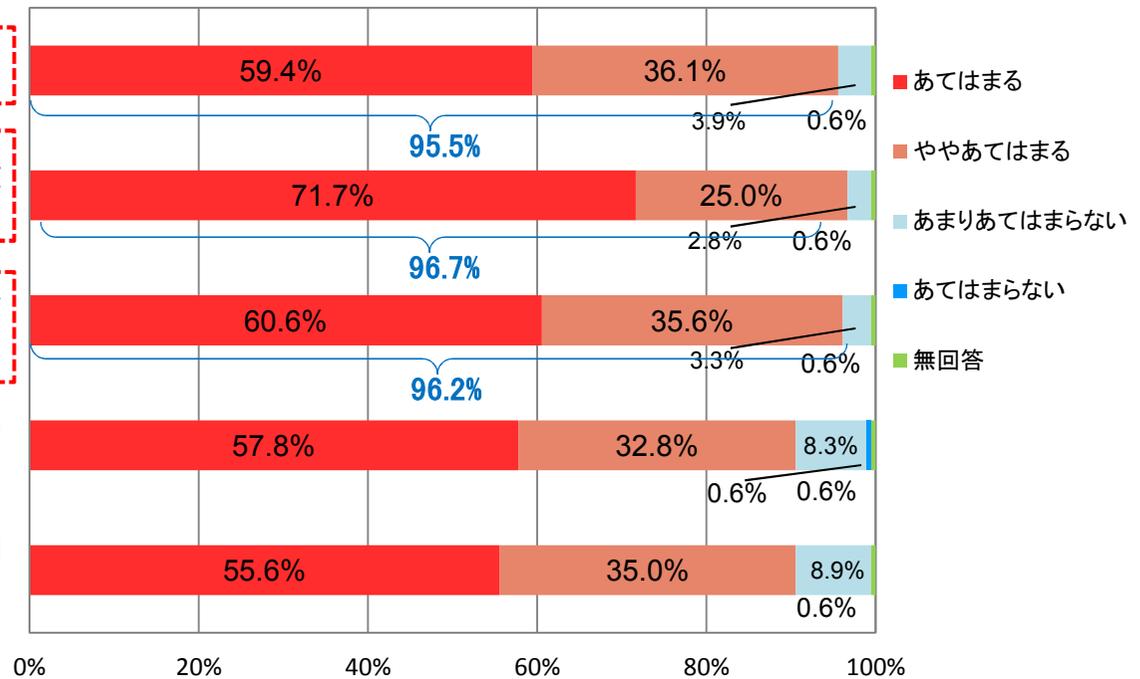
個に応じたきめ細かい指導ができるようになった

専門的な指導や示範を見せることなどにより児童の体育の授業に取り組む意欲が高まった

安全性の向上や事故防止に一層配慮した授業を実施できるようになった

用具の準備や児童への説明などを役割分担することで効率よく授業を進められるようになった

教員にとって新たな指導法の習得や指導意欲向上の機会になった



(出典)文部科学省 平成26年度「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」に関する調査結果